

小さな手帳が、  
いのちの旅と  
平和の祈りを刻む。



世界に広がり、  
世界で生まれた  
母子手帳

戦後の  
混乱のなかで  
「発明」された  
母子手帳



公益社団法人 日本WHO協会 <主催>  
ギャラリー企画展示とセミナー

# 健康は平和の礎

12/8(月)～20(土)開催  
9:30-16:30 (入館 16:00まで)

日曜日は休館

場所 立命館大学国際平和ミュージアム 1F 企画展示室

内容 WHO憲章、世界の母子手帳、日本の母子手帳、  
リトルベビーハンドブック(47都道府県)など

1948年4月7日に発効した世界保健機関（WHO）憲章では、健康は平和の礎であり、同時に平和であることが健康の源であることを認識し、平和を希求する文言が満ち溢れています。2025年は、第二次世界大戦後80年という節目の年。WHO憲章の理念などに学ぶとともに、日本が「発明」した母子手帳の変遷と世界に広がった母子手帳の実践から学び、健康と平和という視座から私たちの社会のあり方を未来志向で考えてみたいと思います。

セミナー開催日：12/12(金)、16(火)

場所 立命館大学国際平和ミュージアム 2F ピースコモンズ

詳しくは次ページ

《主催》



公益社団法人 **日本WHO協会**  
FRIENDS OF WHO JAPAN

《後援》

京都府  
立命館大学国際平和ミュージアム

# 健康は平和の礎 セミナー

申し込み

12月12日(金)13:00~16:00

場所

立命館大学国際平和ミュージアム  
2F ピースコモンズ

講演テーマ 1: 「世界平和と母子手帳とWHO憲章」

\*講師:



中村安秀氏

日本WHO協会理事長、大阪大学名誉教授

講演テーマ 2: 「母子手帳：アナログとデジタルの共生」

\*講師



阪田敦視氏

株式会社プロアシスト  
代表取締役社長



當山紀子氏

大阪大学大学院医学系  
研究科特任准教授



武永早苗氏

NPO法人ひまわりの会  
コンテンツ開発マネージャー

12月16日(火)14:00~15:00

場所

立命館大学国際平和ミュージアム  
2F ピースコモンズ

講演テーマ 3: 「当事者の熱意が行政を巻き込んだ：リトルベビーハンドブックの展開」

\*講師:



板東あけみ氏

リトルベビーサークル  
全国ネットワーク顧問



小島かおり氏

リトルベビーサークル  
滋賀のCOAYU代表

## アクセス

アクセス方法の詳細は立命館大学国際平和ミュージアムのホームページをご覧ください。



## 立命館大学国際平和ミュージアム見学資料費（入館料）

	個人	団体（20名以上）
大人	400円	350円
中学生・高校生	300円	250円
小学生	200円	150円

- ※ 障害者手帳・被爆者健康手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方は、ご提示いただきますと見学資料費が免除になります。付添の方も1名まで無料です。
- ※ JAF会員証提示の場合、1枚で5名まで見学資料費が50円引きになります。
- ※ 立命館で学ぶ人・働く人は無料です。
- ※ 団体料金の適用について、有料となる見学者の総人数が20名以上の場合、団体料金を適用いたします。また他の割引や免除等との併用はできません。

## 企画展示・セミナーに関するお問い合わせ先

企画展示・セミナーについては問い合わせフォームでお問い合わせください。  
<https://japan-who.or.jp/contact/>



公益社団法人 日本WHO協会

FRIENDS OF WHO JAPAN

